

あなたの夢をカタチに

Dreams Come True

いま、夢の扉を開く



一室讓一國興讓

山形県立米沢興譲館高等学校



〒992-1443 山形県米沢市大字 笹野1101番地
TEL.0238-38-4741 FAX.0238-38-2531
URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp>

平成30年度より新たに「探究科」が設置されました！

切り拓く、未来への挑戦！ 創り出す、新たな力

« 本校の教育目標 »

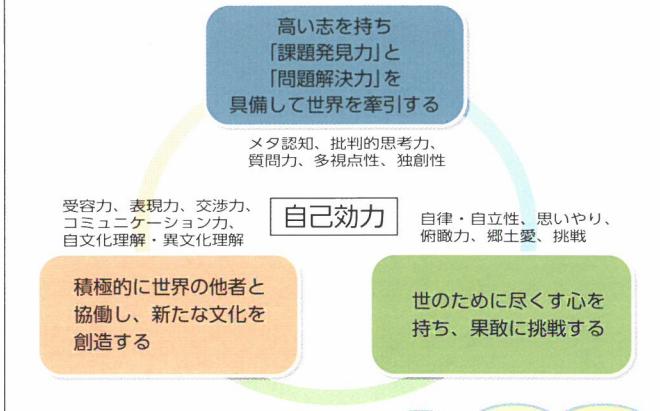
< 教育精神 > 「興譲」の精神

1. 自他の生命を尊重する精神
2. 己を磨き、誠を尽くす精神
3. 世のために尽くす精神

[目指す生徒像]

いのちを尊び、新たな価値創造の志を持ち挑戦する生徒
①自他の生命を尊重し、調和の取れた人間性豊かな生徒
②謙虚に学ぶ姿勢を身につけ、高い志を持ってその実現に向けて努力する生徒
③次代（グローバル・AI社会）のリーダーとして、自立し、世のために尽くそうとする生徒

[興譲館版 doc(domain of competence)]



未来を切り拓く 資質・能力の育成

« 学科の特色 »

【 探 究 科 】

- 基礎的知識・技能を活用し、より高度で発展的な探究型学習を重視
- 高い志と深い知見を有し、挑戦する心と創造性を持ち、将来世界を牽引する人材を育成

<国際探究科>

- 英語及び国語・地歴公民などの文系教科の学習に重点
- 国際的視野を持ち交渉力・マネジメント能力を備えた、将来の社会・文化的イノベーターを育成

英語コミュニケーション力
多視点性・異文化理解
世界へ挑戦する態度

<理数探究科>

- 数学・理科の理系教科及び英語の学習に重点
- 国際的視野を持ち創造力・表現力を備えた、将来のサイエンスイノベーターを育成

科学的思考力
独創性
世界へ挑戦する態度

次期大学入試への 対応に向けて

【 普 通 科 】

- 普通教育をバランスよく展開
- 幅広い知見と次代（グローバル・AI社会）を主体的に生き抜く力を有し、世のために尽くす、将来のリーダーとなる豊かな人材を育成



超難関大学から、個々の志望に応じた大学まで

興譲館版キャリア教育実践プログラム
SSHによる活動とその成果を活かして

「知りたい」「学びたい」からはじまる新たな出会い あなたの「？」を大切にします！

夢をカタチに・・・興譲館3年間の学び

1年

探究科 定員80名（2クラス）

普通科 定員120名（3クラス）



- 「異分野融合サイエンス（F S）」 全教科が協働する探究型学習の基礎
- 「ロジカルコミュニケーションⅠ（LCⅠ）」 国語科を核に論理的思考力の基礎養成

- ・学習オリエンテーションによる学習支援
- ・科、系選択ガイダンスによる進路選択指導
- ・ESDエキスパート制による3年間の一貫指導体制

2年

国際探究科

理数探究科

普通科文系

普通科理系

コミュニケーション力
プレゼンテーション
スキル養成



- 「ロジカル（LCⅡ）コミュニケーションⅡ」
- 「サイエンス（SCI）コミュニケーションⅠ」

- 「スーパー・サイエンスリサーチ（SSR）」2単位 各教科協働による課題研究と発表

○海外研修の実施

- ・台湾研修
※国立台湾師範大附属高級中学と姉妹校
- ・シンガポール、マレーシア研修

- ・KITプロジェクト、友子会などの個に応じた、難関大志望者向けの指導

3年

国際探究科

理数探究科

普通科文系

普通科理系

- 「ロジカル（LCⅢ）コミュニケーションⅢ」

- 地歴2科目履修可能（東大等文系難関大受験対応）

- 「サイエンス（SCI）コミュニケーションⅡ」

- 英語による論文・ポスター作成、発表準備

○進路に応じた選択科目の配置②

- ・「音楽研究」、「美術研究」
(芸術系志望にも対応)
- ・理系1 数学Ⅲ履修
- ・理系2 数学Ⅲを必要としない者対象



- ・ESDエキスパート制、KITプロジェクト、友子会などの指導の継続
- ・AO・推薦入試、センター試験、国公立二次試験向け対策

自己実現（目指す進路希望達成）

Q & A

Q 1 探究科とはどのような学科ですか？

A： 現代は「グローバル化」「情報化」などで日々の変化が激しい時代です。これからは、急激な社会の変化に対し柔軟に対応できるよう単に知識を学ぶだけでなく、思考・判断し知識を活用する力が必要になります。

これからの大学入試もこのことに即して、変更されます。

探究科は、そのような力の育成を目指す学科であり、力を身につけるために、自ら課題を発見し解決に取り組む、「探究型学習」を重視します。

探究型学習について興譲館高校は、スーパーサイエンスハイスクール(S S H)として以前から取り入れており、学校全体の取り組みとしてさらに発展させていくことを目指しています。

Q 2 探究科は普通科とどう違うのですか？

A： 普通科が普通教科をバランスよく学習するのに対し、探究科は探究型学習の時間を多く設けています。また、学校設定科目により、さまざま特色ある科目を開講し授業を行います。

Q 3 国際探究科と理数探究科はどう違うのですか？

A： 国際探究科は、英語をはじめとして国語・地歴公民などの文系教科の学習に重点を置く学科となります。一方、理数探究科は、数学・理科の理系教科に加えて英語の学習に重点を置いた学科となります。

特色ある科目として、例えば、国際探究科には論理的思考を養成するロジカルコミュニケーション（L C）が、理数探究科には国語科・英語科協働でコミュニケーション力を養成する、サイエンスコミュニケーション（S C）があります。また、探究型学習の核となる科目として、課題研究を行うスーパーサイエンスリサーチ（S S R）が共通して配置されています。

Q 4 探究科にはさまざまな活動があるため忙しくなり、部活動ができなくなったりしませんか？

A： 探究科としてさまざまな活動があることは事実です。一方で、そのような活動がこれから社会において必要な力であることは、Q 1に書いてあるとおりです。さまざまな活動を、自分の力で計画を立て実行していくことは大切なことといえます。

興譲館高校は、みなさんが部活動はもちろんのことさまざまな活動に打ち込めるよう支援していきます。あなたが究めたい活動に一生懸命取り組める学校です。

Q 5 探究科と普通科の入学者選抜について教えてください。

A： 入学者選抜は、探究科（定員80名）と普通科（120名）を別々に募集します。この際に、探究科を第一、普通科を第二志望として出願できます。一方、普通科を第一志望とした場合は探究科を第二志望にはできません。（なお普通科選抜において第一・第二志望は同等に扱います。）

また、探究科選抜において、引き続き傾斜配点の実施を予定しています。

Q 6 理数科はなくなってしまうのですか？

A： 理数科がなくなるわけではありません。専門学科「理数探究科」として継続します。

また、新たな専門学科として国際関係に関する学科として「国際探究科」が設置され、あわせて探究科となります。

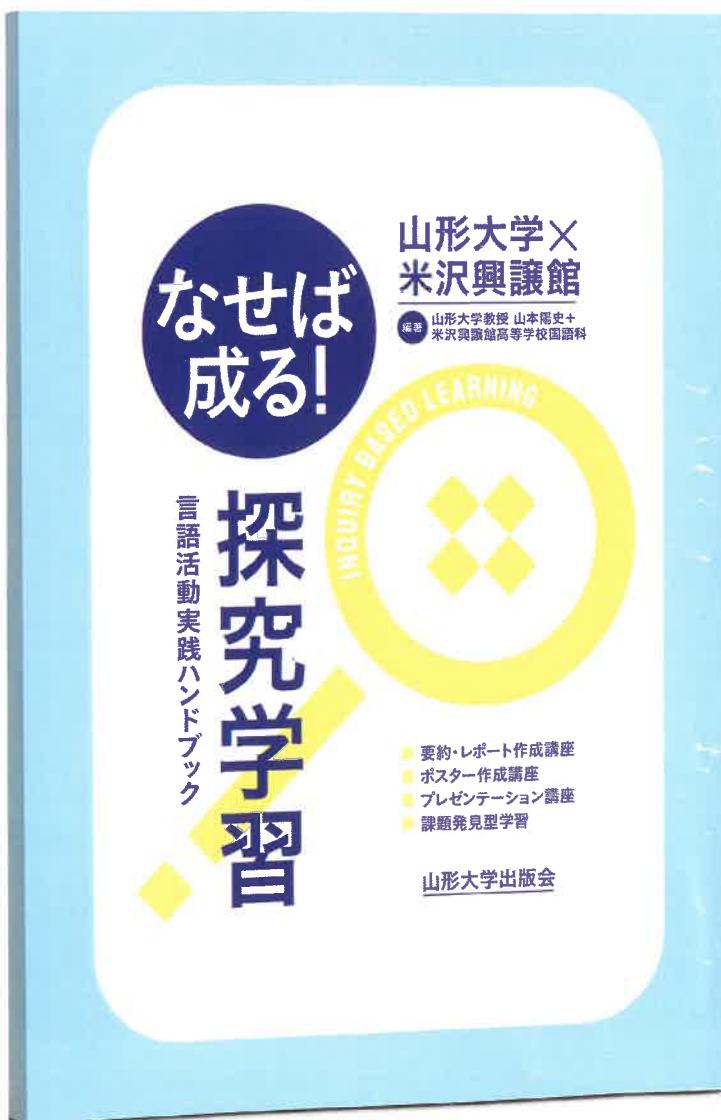
一人ひとりの夢をカタチにするために
その芽、大きく育てます！

INQUIRY BASED LEARNING

なぜば成る! 探究學習

言語活動実践ハンドブック

「深い学びで」
課題解決力を
身につける。



高等学校での探究學習を効果的に進めるには、課題発見・解決のための論理的思考力と、成果を効果的に発信するプレゼンテーション・ポスター・レポート作成能力が不可欠です。それらはまず日本語の言語活動として展開されます。山形県立米沢興譲館高等学校では3期にわたるSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業と探究科の設置(2018年)により、探究學習に全校挙げて取り組んできました。本書は7年間にわたり山形大学と山形県立米沢興譲館高等学校国語科が協同して実施してきた言語活動実践の具体的な方法論とノウハウを開くものです。山形大学が作成した大学生・高校生のためのアクティブラーニングのマニュアル『なぜば成る!』の姉妹編として、全国の教育現場における探究活動の参考としていただければ幸いです。

- 編著
山形大学教授 山本陽史
山形県立米沢興譲館高等学校国語科
- 体裁 / A4判 80ページ(予定)
- [冊子版] 予定価格 / 本体800円+税
[電子書籍版] 予定価格 / 本体760円+税
- 刊行予定 / 令和2年(2020年)3月
- 発行 / 山形大学出版会
〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12
TEL 023-677-1182 / FAX 023-677-1144